

TOPICS

サマー・サイエンスキャンプ 2012 の開催

(独) 科学技術振興機構主催、参加機関共催で行われる「高校生のための先進的科学技术体験合宿プログラム」サマー・サイエンスキャンプを、平成 24 年 7 月 25 日(水)から 27 日(金)の 3 日間に渡って開催しました(つくば本所)。動衛研としては 15 回目となる今年も、総勢 15 名の研究者が講師を担当し、8 名の高校生を迎えました。主な実習内容は以下の通りです。

1. マウスの体の観察と遺伝子解析技術の基礎
2. 家畜の臨床検査、生化学検査
3. 動物のインフルエンザに関するセミナー
4. プリオン病についてのセミナー

動衛研のサイエンスキャンプは、例年応募者が多く、またほとんどが獣医師志望と将来の希望もはっきりしています。盛りだくさんの内容でも一生懸命ついていこうとする参加者は、研究者にとっても刺激になっ

ています。今年のキャンプも、獣医師への進路に不安を感じていた参加者があらためて将来への決意を固める後押しとなったのではないのでしょうか。

3 日間のキャンプは、全員が無事

すべての内容を修了し、最終日の発表では、実習への感動、同じ夢を持つ仲間や研究者との交流についての感想と、夢を現実に行きたいとの抱負が述べられました。

(情報広報課)



平成 24 年度北海道支所一般公開

7 月 7 日(土)、「のぞいてみよう! 農業研究」をテーマに北海道農業研究センター一般公開が行われました。



北海道支所も中央農業総合研究センター、畜産草地研究所など他の農研機構内研究所と共に参加し、研究

紹介パネルの展示および動物衛生研究所紹介ビデオの上映を行い、動物衛生研究所の使命、業務内容、研究成果について PR するとともに、細菌や組織を顕微鏡で観

察する体験型展示を行いました。

当日は天候にも恵まれ、774 人の来場者があり、北海道支所のブースにも多くの市民の皆様が来られ、細菌などの顕微鏡観察や研究紹介パネルに興味深そうに見学されました。

パネル展示での質問およびアンケートの結果からは、急性伝染病である高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫などに対する関心の高さが伺われました。

この一般公開を通し、動物衛生研究所の使命や研究成果について今後も継続した情報発信が必要であることを改めて確認した次第です。

(北海道支所一般公開実行委員会)